

新連載
「丹後の
鳥獣」

Q. これは何の動物の足あと?

クイズの答えは3面へ



指跡5本、爪跡長い



指跡5本



指跡5本、指が長い



指跡4本、爪跡短い

農作物を生産する上で大きな課題である鳥獣害対策について、当センターでは今年度、各地の水稲青空教室（6月）で電気柵設置のポイントを説明したほか、「農業経営スキルアップセミナー」（11/12）や「丹後農業の担い手育成講座」（12/16）で、定年帰農者や若手農業者等を対象に、鳥獣害対策の講演会等を開催しました。

メール会員
募集中!!

おいしいお米づくりのヒントを メールでお知らせします!

丹後米改良協会では、おいしい丹後米づくりのための管理のポイントや、病虫害の発生・気象災害対策情報を、メールでお知らせしています。(無料。通信料は別途必要)



- ①メールの利用可能な、携帯電話やパソコンを用意します。
- ②次のあて先に、空メールを送ってください（右のQRコードでも可）
tangomai@mamail.jp
- ③「ご入会ありがとうございました」の返信メールが届いたら、登録成功です。

※登録方法がわからない場合は、丹後農業改良普及センターか、最寄りJAIに相談してください。

特集

6次産業化・農商工連携の取組

丹後の農産物の魅力発信のため、27年度に取り組みましたものをご紹介します

丹鉄とコラボ! 「フルーツ列車」運行始まる

一年を通じてフルーツがいっぱいの丹後地域では、27年度から「丹後フルーツ」の統一イメージで、PRに取り組んでいます。27年8月からは京都丹後鉄道とコラボして、果樹園を走り抜ける車内で、旬のフルーツを味わうことのできる「フルーツ列車」(土・日・祝日限定)の運行を開始しました。

夏には完熟桃、もぎたて葡萄やフルーツトマト、秋からは由良みかん、2月からはイチゴといった、産地ならではの味にこだわったフルーツを、列車内で提供しています。



丹後産食材を使ったプレートランチ

名古屋で商談会・ 食材フェアを開催

京都縦貫道・舞鶴若狭道の開通により、丹後地域と名古屋・中京圏が高速道路でつながりました。そこで、食の王国丹後のPRと、農林水産品の売り込みのため、名古屋駅前の「桜通りカフェ」において、10月7日に商談会、7日～18日まで食材フェアを開催しました。食材フェアでは、中京圏の食品産業事業者に、当センターの上西副所長が、丹後産の京野菜の魅力について講演を行いました。

丹後の酒米づくりへの支援

米どころの丹後は酒米の生産量も多く、京都独自の酒米「祝」「京の輝き」については府内生産量の約6割を生産しています。このような歴史・風土に支えられ、丹後には10の酒蔵があり、それぞれ特徴のある地酒を造り、丹後の大切な観光資源となっています。

当センターでは、農業者と酒造メーカー・観光関係者に対して研修・交流の場を提供しています。そこでは、ICTを活用した新たな情報発信手法の検討、丹後産「祝」を使った新銘柄づくり、前年度に試作した「海の京都十三蔵地酒飴」の商品化と海外展開など、目に見える連携の成果が実りつつあります。



～築いていこう! 男女共同参画～

小さな経営革新 チャレンジ支援事業

この事業は、農業者が経営向上のためチャレンジする「新たな一歩」を支援するため、27年度から始まりました。事業を実施できる分野は「農産物生産」「流通・販売」「6次産業」など多岐にわたり、経費の一部助成に加え、農業改良普及センターが実現に向けた伴走支援を行います。

初年度は府全体で56件、丹後地域では13件が実施されています。その内容は、農産物生産分野では「LEDライトによる害虫対策」「小豆のスタンドバッグ乾燥」、流通・販売分野では「海外ビジネス商談会への参加」「ネット通販で販路拡大」、6次産業分野では「冷凍京野菜の試作」「薦池大納言のスイーツ試作」などバラエティに富んでいます。



試作した冷凍京野菜等の検討会を実施

「丹後の鳥獣」クイズ (1面) の答え

丹後地域での農作物に被害を及ぼす野生動物には、イノシシ、シカ、カラス等の鳥類、クマ、サルとタヌキやヌートリア等の中型動物がいます。野生動物による農作物の被害対策に取り組むためには、動物の種類を特定することが重要ですので、今回は、姿・被害の判別しにくい中型動物について、クイズ形式で紹介しました。

① アナグマ



尾が短く、耳が小さく先端丸い。頭を下げた姿勢が基本。ため糞の習性がある。穴を掘るのが得意。蓋付きの側溝や土管に潜むことが好き。(イタチ科)

② ハクビシン



尾が長く、体の長さとはほぼ同じ。頭を下げた姿勢が基本。ため糞の習性がある。木登りが得意で、綱渡りもできる。木登りは、爪を使わず両足で挟むようにしてのぼる。(ジャコウネコ科)

③ アライグマ



尾が縞模様。頭を下げた姿勢が基本。凶暴。木登りが得意で、爪をひっかけながらのぼる。前肢を手のように使うので、食害だけでなく、さわったり、掴んだりしてできた傷や汚れの被害も発生する。(アライグマ科)

④ タヌキ



尾が短く、前脚～肩に黒い帯。頭を上げた姿勢が基本。ため糞の習性がある。(イヌ科)

丹後のいきもの

クロゲンゴロウ
Cybister brevis



写真の昆虫はクロゲンゴロウという名前で、大きさは 2.5 cm ほどです。近年、池沼の消滅や環境汚染の影響により、個体数が減少し、京都府レッドデータブックでは、絶滅危惧種に指定されています。

～環境にやさしい農業は土づくりから～

平成27年度 農山漁村伝承技能登録

3名の「匠」と3名の技能登録者が認定されました。

京都府農山漁村伝承優秀技能認定者「匠」

～農の匠～

井上 喜久治 (京丹後市)：良食味米生産



気象条件に応じた、きめ細やかな水管理や有機質肥料のみによる施肥技術により、良食味米を生産しています。丹後産コシヒカリ良食味米共励会において、安定して高い評価を受け、特Aランクの丹後コシヒカリ生産を牽引してこられました。

田邊 榮志 (京丹後市)：肉用牛繁殖



作業効率の良い扉や柵等、構造に工夫を凝らした牛舎・堆肥舎等を建設し、広い運動場で足腰の強い子牛を育成するとともに、優れた血統を積極的に導入し、受精卵移植技術も先進的に取り入れました。

～海の匠～

泉 一次 (伊根町)：水視漁法



アワビを傷つけずに効率よく採捕できる十手型漁具を導入し、地域の漁獲量を向上させるとともに、アワビ種苗放流、放流種苗購入資金積立制度の確立等、地域の磯根資源栽培への取り組みを主導されました。

京都府農山漁村伝承技能登録者

氏名	市町村	登録技能名
上家 透	宮津市	育林技術
中村 幸子	宮津市	餅加工
中村 頼子	宮津市	餅加工

新しい農業士さんが 認定されました

農業士は京都府知事が認定し、地域農業の活性化や後継者育成などに御尽力いただきます。

青年農業士

岡崎 省吾 (京丹後市久美浜町)

青年農業士

中谷 忠史 (与謝野町)

退任される農業士さん

地域や若い担い手のリーダーとして活躍いただき大変お世話になりました。

今後ともそれぞれの立場で地域農業の発展のため御支援をお願いします。

指導農業士

中井 敏博 (京丹後市峰山町)

青年農業士

小田 俊規 (与謝野町)

「丹後地域農業 応援隊」 発 足

12月17日、農業者の経営発展をより進めるための「丹後地域農業応援隊」が発足しました。今後、当センターが事務局となり、丹後地域のJA、市町、商工会議所や商工会、農業ビジネスセンター、府の関係機関が一体的に伴走支援を進めていきます。

